

汚泥の改良土を開発、 リサイクル事業を推進。



杉浦専務

株式会社 杉浦組
(愛知県半田市)

JR半田駅近くの市街地にある株式会社杉浦組に伺い、事業内容や会社の歴史などを杉浦専務取締役についていろいろお話していただきました。

— まず、最初に産業廃棄物の取扱い品目と許可区分を教えてくださいませんか。

杉浦専務取締役（以下杉浦に略）『汚泥と建設廃材の収集運搬、脱水と破碎の中間処理を行っています。当社は建設廃材の破碎施設の許可をいち早くいただいた企業なんです。県から許可を取得した第1号でした。』

— 現在も破碎を中心に中間処理に取り組まれているわけですか。

杉浦『現在は脱水の方、つまり汚泥の中間処理を主力に取り組んでいます。当社は土木建築が事業主体ですから、産業廃棄物一辺倒というわけではありませんが、ここ10年程は力を入れました。』

— もう少し詳しく汚泥の中間処理についてお話していただけますか。

杉浦『当社の取り組む汚泥の中間処理は、下水の配管設置工事から排出する汚泥を改質して、実用に耐える土質改良土へ転化するものです。鉄鋼スラグや焼却灰などと混合し、実に質の高い再生品を開発することができました。当社のベンチャー企業が開発を担当し、大学教授の指導を受けて特許も取得しています。この成果は昨年の廃棄物学会で発表いたしましたので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんね。実証実験においては道路工事の路床土として使用し、コーン指数が25以上というデータが出ました。コーン指数は15以上あればダンプカーの通行も可能ですから、これはもう実用に足ると自



社名/株式会社杉浦組 所在地/愛知県半田市郷中町2-22
代表者/杉浦善一 創業/昭和39年 従業員/14名 TEL/0569(23)0811
事業所/本社 営業種別/収集運搬、中間処理(脱水、破碎)
取扱い品目/汚泥、建設廃材

信を持っております。』

— 廃棄物減量化の意味合いから、処分場の延命化に役立つでしょうね。

杉浦『その通りだと思います。』

— いまおっしゃられたリサイクル関係も含めて、汚泥処理を拡大していくご計画ですか。

杉浦『闇雲に拡大施策を取っても仕方ありません。自社のキャパシティを十分把握して、できる範囲で取り組んでまいりたいと考えています。また、これは処理処分やリサイクルとは直接関係ありませんが、知識の普及啓発、啓蒙の観点から半田市内においてシンポジウムなどは以前から行ってまいりましたが、こういう動きは今後もぜひ行っていきたいと考えています。』